

リハビリテーション学科(作業療法学専攻) シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
2年	11	運動学演習
2年	26	作業療法理論
共通	72	実務経験を有する教員の科目一覧

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-1-BSF-10			
		●		●					
科目名	運動学演習				単位認定者	高橋 慧		授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		
						授業回数	15 回		
授業の概要	運動学演習では、「運動学」及び「運動学実習」で身につけた頭部、体幹、四肢の関節の基本的な構造と運動の知識を踏まえ、動作分析のための知識と思考・技術を学修する。臨床現場で観察される基本姿勢・動作を分析するために、分析し、言語・身体表現する能力を身につける。								
到達目標	1. 作業・活動・動作・運動分析とは何かの説明ができるようになる。 2. 動作、運動の観察の視点が説明できるようになる。 3. 動作、運動の記載がそれぞれできるようになる。								
学修者への期待等	提出物の期限が守れるよう計画的に行動してほしい。								
回	授業計画				準備学修			担当	
1	授業ガイダンスと運動学演習への導入、学修の進め方 作業・動作分析の種類				基礎作業学を復習しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
2	観察と分析、記録の方法				前回の授業内容の復習と客観・主観の説明ができるよう学修しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
3	姿勢観察【演習】				前回の授業内容と姿勢に関する解剖学、運動学を復習しておくこと（予習、復習各30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
4	姿勢分析【演習】				前回までの内容を終わらせておくこと（30分～1時間程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
5	姿勢確認、修正【演習】				前回までの内容を確認しておくこと（30分～1時間程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
6	立ち上がり動作観察【演習】				立ち上がりに関する解剖学、運動学を復習しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
7	立ち上がり動作分析【演習】				前回までの内容を終わらせておくこと（30分～1時間程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
8	立ち上がり動作確認、修正【演習】				前回までの内容を確認しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
9	歩行観察【演習】				歩行に関する解剖学、運動学を復習しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
10	歩行分析【演習】				前回までの内容を終わらせておくこと（30分～1時間程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
11	歩行動作確認、修正【演習】				前回までの内容を確認しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
12	ADL観察の基礎				ADL・IADLの概要を復習しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
13	ADL観察【演習】				ADLの工程を復習しておくこと（30分程度）			高橋 慧 齋藤 佑樹	
14	運動学のための人体解剖学実習① 【一部の反転学習を含む、フィールドワーク】				LMSに掲載された資料を確認すること（60分程度）			山本 由似 大和田 祐二 高橋 慧 齋藤 佑樹	
15	運動学のための人体解剖学実習② 【フィールドワーク】				LMSに掲載された資料を確認すること（60分程度）			山本 由似 大和田 祐二 高橋 慧 齋藤 佑樹	
教科書	『基礎運動学 第6版補訂』中村隆一他著、医歯薬出版株式会社* 『動作分析 臨床活用講座—バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践』石井 慎一郎著、メジカルビュー社* *1年次購入済み								
参考文献	『筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版』Donald A. Neumann原著、医歯薬出版株式会社 『PT・OTのための運動学テキスト 基礎・実習・臨床』小柳磨毅他編、金原出版								
備考	14～15回PT・OT合同授業 授業内課題の提出期限は厳守してください。期限を過ぎた場合は受け取りませんので気をつけてください。 授業内課題のフィードバックは授業時間中に適宜行います。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

齋藤佑樹：総合病院に勤務しながら、長年身体障害領域の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、運動学の基礎的知識や動作分析についての講義を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	RO-2-BOT-04			
	●	●		●					
科目名	作業療法理論				単位認定者	齋藤 佑樹 外里 富佐江		試験 (レポート)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	OT	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間
				授業回数		15 回			
授業の概要	人間作業モデルや作業遂行と結びつきのカナダモデル、人-環境-作業モデルなど、作業療法における主要な広範囲理論について学ぶことで、人をダイナミックシステムとして捉えるとともに、さまざまな側面から臨症的推論を行う知識を身につける。 また、複数の理論を比較・検討する機会を通して、それぞれの理論の特色を学ぶとともに、作業療法の普遍性についても理解を深めていく。								
到達目標	代表的な広範囲理論の構造を説明することができる。 対象事例の状態を特定の広範囲理論に当てはめて推論することができる。								
学修者への期待等	難易度の高い内容が多く含まれます。用語や構造を独立して捉えるのではなく、常に対象者を想像しながら臨症的な観点を踏まえて理解しようとするのが大切です。毎回十分に予習・復習を行い、主体的に授業に参加することを期待します。								
回	授業計画				準備学修				
1	行動変容理論①（講義）				講義の内容をノートにまとめること（30分程度）				
2	行動変容理論②（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
3	人-環境-作業モデル①（講義）				講義の内容をノートにまとめること（30分程度）				
4	人-環境-作業モデル②（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
5	カナダモデル①（講義）				講義の内容をノートにまとめること（30分程度）				
6	カナダモデル②（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
7	人間作業モデル①（講義）				講義の内容をノートにまとめること（30分程度）				
8	人間作業モデル② OSA-II（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
9	人間作業モデル③ OPHI-II（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
10	人間作業モデル④ その他の評価（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
11	OBP2.0①（講義）				講義の内容をノートにまとめること（30分程度）				
12	OBP2.0②（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
13	川モデル①（講義）				講義の内容をノートにまとめること（30分程度）				
14	川モデル②（グループワーク）				前回の内容を復習して授業に臨むこと（30分程度）				
15	作業療法に関連する理論のまとめ				講義の内容をノートにまとめること（30分程度）				
教科書	『作業で語る事例報告 作業療法レジメの書き方・考え方』齋藤佑樹 編、医学書院* *1年次購入済み								
参考文献	適宜紹介します								
備考	配付資料がある場合は、前日までにLMSに投稿します。印刷・PC上での閲覧、どちらでも構いません。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

齋藤：総合病院で理論を基盤とした実践を長年行ってきた。また、作業療法の理論を概観できる本講義の指定教科書も科目責任者の編集である。

外里：総合病院で理論を基盤とした実践を長年行ってきた。これまでの臨床経験を 活かし、作業療法の理論について講義を行う。

リハビリテーション学科 作業療法学専攻 実務経験を有する教員の科目一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
運動学演習	1	齋藤佑樹	総合病院に勤務しながら、長年身体障害領域の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、運動学の基礎的知識や動作分析についての講義を行う。
神経学	2	佐直信彦	医学部卒業後東北大学医学部付属鳴子分院にてリハビリテーション医学の臨床・教育・研究に13年間携わり、東北労災病院リハビリテーション科部長として臨床・研究に18年間従事し、リハビリテーション科専門医、脳卒中専門医等を取得した。この経験をもとに講義を担当する。
臨床医学特論	1	荒牧隼浩	当該教科担当者は急性期病院において理学療法業務に10年以上従事しており臨床における十分な実務経験を有している。
精神医学各論	1	須藤あゆみ	精神科病院に勤務し精神障害領域の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かし講義を行う。
老年学	1	佐直信彦	医学部卒業後東北大学医学部付属鳴子分院にて内科学全般、リハビリテーション医学の臨床・教育・研究に13年間携わり、東北労災病院リハビリテーション科部長として臨床・研究に18年間従事し、リハビリテーション科専門医・脳卒中専門医等を取得した。その後、前任地の4年制大学のリハビリテーション学科教授を13年間務めた。この経験をもとに講義を担当する。
リハビリテーション栄養学	1	高泉 佳苗	管理栄養士として病院における栄養管理の実務経験を有する。
救急救命医学	1	伊藤大亮	大学病院にて長年理学療法業務に従事し、十分な臨床実務経験を有する。内部障害チーム所属時はリハ部門内救急救命教育に従事した経験を有する。
作業療法理論	1	齋藤祐樹	総合病院で理論を基盤とした実践を長年行ってきた。また、作業療法の理論を概観できる本講義の指定教科書も科目責任者の編集である。
		外里富佐江	総合病院で理論を基盤とした実践を長年行ってきた。これまでの臨床経験を活かし、作業療法の理論について講義を行う。
作業療法研究法	1	齋藤佑樹	目標設定やロボティクス分野など、複数の科研費研究に従事し、国内・外の雑誌に研究論文が掲載されている。これまでの研究歴を活かしながら、研究法の基礎、文献検索およびクリティーク、研究計画の作成等について講義を行う。
作業療法管理学	1	齋藤佑樹	総合病院に勤務しながら、作業療法部門の係長および回復期リハビリテーション病棟のリーダーを担ってきた。これまでの経験を活かしながら、セルフ・チーム・組織のマネジメントについて講義を行う。
疾患別作業療法評価学実習Ⅰ	1	戸田祐子	総合病院併設の介護老人保健施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら生活支援を見据えた評価や介入について講義を行う。
疾患別作業療法評価学実習Ⅱ	1	須藤あゆみ	精神科病院に勤務し精神障害領域の作業療法に携わってきた。その臨床経験を活かし、作業療法対象者の状態把握のための評価について講義を行う。
		高橋慧	地域の通所施設に勤務しながら、長年身体障害領域の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、高齢者に対する評価や介入の実際について講義を行う。
		戸田祐子	総合病院併設の介護老人保健施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら認知機能に関する評価の実践と活用について講義を行う。
		熊谷竜太	総合病院に勤務し、院内や外来、訪問などの精神障害領域に携わってきた。その臨床経験を活かし、作業療法対象者の状態把握のための評価について講義を行う。
身体機能作業療法学実習	1	齋藤佑樹	総合病院に勤務しながら、長年身体障害領域の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、作業療法プロセスや介入の実際について講義を行う。
		高橋慧	地域の通所施設に勤務しながら、長年身体障害領域の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、作業療法プロセスや介入の実際について講義を行う。
		戸田祐子	総合病院併設の介護老人保健施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、作業療法プロセスや介入の実際について講義を行う。
精神機能作業療法学実習	1	須藤あゆみ	精神科病院に勤務し精神障害領域の作業療法に携わってきた。その臨床経験を活かし、作業療法プロセスや介入の実際について講義を行う。
		熊谷竜太	総合病院に勤務し、院内や外来、訪問などの精神障害領域に携わってきた。その臨床経験を活かし、作業療法対象者の状態把握のための評価について講義を行う。
病期別作業療法学実習Ⅰ	1	齋藤佑樹	総合病院に勤務しながら、急性期から生活期まで、様々な病期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、各期における作業療法評価・介入の実際について講義を行う。
		高橋慧	地域の通所施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、高齢者に対する評価や介入の実際について講義を行う。
病期別作業療法学実習Ⅱ	1	戸田祐子	総合病院併設の介護老人保健施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら生活支援を見据えた評価や介入について講義を行う。
		高橋慧	地域の通所施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、高齢者に対する評価や介入の実際について講義を行う。
病期別作業療法学実習Ⅲ	1	熊谷竜太	総合病院に勤務し、院内や外来、訪問などの精神障害領域に携わってきた。その臨床経験を活かし、作業療法対象者の状態把握のための評価について講義を行う。
		戸田祐子	総合病院併設の介護老人保健施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、作業療法プロセスや介入の実際について講義を行う。
高次神経障害作業療法学	1	齋藤佑樹	総合病院に勤務しながら、長年脳卒中患者の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、高次脳機能障害を持つ対象者に対する評価や介入の実際について講義を行う。
		戸田祐子	介護老人保健施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、高次脳機能障害対象者への評価の介入の実際について講義を行う。
社会生活行為学演習	1	戸田祐子	総合病院併設の介護老人保健施設、特別養護老人ホームにて生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験をいかしながら対象者の生活を中心に据えた考え方について講義を行う。
義肢装具学	1	高橋慧	これまで切断者の競技水泳支援や機能評価を行ってきた。これまでの支援経験を活かしながら、義肢装具を使用している方への評価のやり方などを中心に講義を行う。
臨床作業療法演習Ⅱ	2	須藤あゆみ	精神科病院に勤務し精神障害領域の作業療法に携わってきた。その臨床経験を活かし、一連の作業療法過程について講義する。
		高橋慧	地域の通所施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、高齢者に対する評価や介入の実際について講義を行う。
作業療法管理学演習	1	熊谷竜太	宮城県作業療法士会に所属し、部や委員会の主担当理事やリーダーを担ってきた。これまでの経験を活かしながら、セルフ・チーム・組織のマネジメントについて講義を行う。
臨床作業療法演習Ⅲ	1	須藤あゆみ	精神科病院に勤務し精神障害領域の作業療法に携わってきた。その臨床経験を活かし、一連の作業療法過程について講義する。
		高橋慧	地域の通所施設に勤務しながら、生活期の作業療法に携わってきた。これまでの臨床経験を活かしながら、高齢者に対する評価や介入の実際について講義を行う。
保健医療福祉連携論	1	須藤あゆみ	精神科病院に勤務し精神障害領域の作業療法に携わってきた。その臨床経験を活かし、連携の重要性や要点について講義を行う。
	26	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	93	設置基準上の標準単位数	